



# イサムの 議会だより

佐藤 勇後援会 討議資料  
第10号 2005年7月発行

〒015-0414 秋田県由利本荘市矢島町立石字悪戸 145  
TEL0184-552097・FAX0184-55-2103

## 合併が良かったと思 うような街づくりで 頑張りたい

講演会、市民皆様、日頃大  
変お世話になっておりますこ  
とに改めて深く感謝と御礼を  
申し上げます。

在任特例制度の受け入れに  
ご批判ご叱咤いただきました  
が、約九万二千人市民皆様の  
ご理解に答えられるよう身の引  
き締まる思いで今日に至って  
おります。

が理想、80%超では財政構  
造弾力が失われつつあり、健  
全でないと考えます。  
当、由利本荘市は最初から  
88・9%を超える、これが十  
年間ほとんどそのままの数字  
だ。  
この状況で特例債をこのまま  
使えるのか五年後、十年後の  
財政運営はどうなのか伺いま  
す。

④答弁 平成17年度末の市債  
残高見込み額が、約732億  
6千万円だがピークを迎える  
平成22年度は約966億円に  
なるものと予想される。その  
後は緩やかに減少すると予想  
している。  
ご質問の通り、本市の財政  
状況は非常に厳しい状況だが  
中・長期の収支見直しも考え  
合わせ財源調整を図りながら  
計画事業の実現に向けてい  
く。

## 17年度予算は

17年度本予算は833億  
7、382万2千円。一般会  
計は511億3千万円と15の  
特別会計が278億1、  
735万9千円と三企業会計  
で44億2、646万3千円  
で44億2、646万3千円  
です。

在任特例制度の受け入れに  
ご批判ご叱咤いただきました  
が、約九万二千人市民皆様の  
ご理解に答えられるよう身の引  
き締まる思いで今日に至って  
おります。

新由利本荘市になって早  
三ヶ月『まだ実感がわいて来  
ない。』と言うのが正直なと  
ころ、『かえって、細かい点  
など悪くなった気がする』な  
ど、前向きな返事が返ってき  
ません。

住民生活は、今一度にがら  
りと変わる事はないと思いま  
すが、『いま徐々に描いてい  
たイメージとは違うので  
は？』と会う人ごと  
に言われます。

## 議 会

去る6月14日から29日まで  
由利本荘市6月定例議会で、  
41名の一般質問があり、私は  
4項目について質問しまし  
た。

①質問 今後の政治姿勢につ  
いて広い行政区域の住民生活  
の格差をどう是正していくの  
か、また否決された参与制の  
提案した考えや8人の区長の  
年間経費。約7千万円も高い。  
今後の将来構想計画に水を差

本年度予算内容はほとんど  
が各旧市町持ち込みの、やむ  
を得ない、まあまあ予算。

## 鳥海町の今年度

- ・川内保育園改築事業
- ・中山間地域総合整備事業
- ・地域新エネルギー開発事業  
(発電施設はESCO方式に  
より民間で施行)
- ・夜間照明及び電光掲示板設  
置事業(継続)
- ・除雪事業では、ドーザー一  
台含む、冬期交通確保事業
- ・農業集落排水整備事業
- ・診療所・鳥海・直根・笹子  
の運営費
- ・中山間地域等直接支払事業  
(補助事業)
- ・田園空間整備事業・貝沢・  
オノ神堰整備

## 由利町の今年度

- ・生活基盤近代化事業老朽化  
した浄水施設の改良
- ・国体施設整備事業
- ・由利運動公園、(役員席改  
修含)ソフトボール場改修、  
運動公園駐車場新設
- ・ゆりえもん運営費
- ・冬期交通確保事業
- ・交通安全施設整備事業

すものではないか。

①答弁 『市民に信頼され  
る政治、豊か活気に満ちあ  
ふれる町づくり、施政の主  
人公は市民、と考える市政  
運勢に心がける』と答えた。

②質問 今まで町や市が公  
共の施設を委託して来た制  
度が一部改正され、民間業  
者・株式会社・任意の団体  
が指定を受ければ管理を代  
行できる指定管理制度に変  
わった。

(自治体のスリム化と民間  
活動導入やノウハウの取り  
入れを目指すもの)  
平成15年6月公布9月施  
行・三年以内に移行の法律  
平成18年9月1日期限まで  
直営か、管理を代行させる  
のか(第3セクターも民間  
との競争が避けられない)

②答弁 職員の身分処遇な  
どの課題もあり、総合的に  
判断して期限内には対処し  
たい。  
(消極的答弁)

③質問 行革推進上、現在  
の庁舎の形態のままではい  
いかどうか、総合支所  
方式を最大条件に合併した  
経緯は理解しているものの  
各地域にほとんどの課があ

(自・歩道設置)蟹沢線・  
大水口金山線・森子1号線  
・移動通信鉄塔施設整備事  
業

・特別会計の介護保険事業  
・消防施設・耐震性貯水槽  
5基  
・町営駐車場舗装整備

## 矢島町の今年度

- ・殆どは前年並みですが  
・多目的グラウンド土入替え  
・榎木田線、本年度は橋梁  
部分
- ・八森城址周辺整備事業
- ・文化財調査事業
- ・民族芸能伝承活動事業
- ・除雪ブルドーザー11トン  
級
- ・花立地区簡易水道整備継  
続
- ・地籍調査は前年の約半分  
・スキー場再開発事業
- ・中学校建設用地測量、基  
本設計等々
- ・農業関係はほぼ昨年並

るので旧来通りの現状に近く  
違和感がないが、

◆職員数が今と同程度必要で  
合併の効果はあまり期待出来  
ないのではないか。  
◆一体感が醸成され難い・

◆命令系統が複雑になり迅速な  
対応がとれないのではない  
か。  
◎業務に集中でき、事務の効  
率化が図られる。  
◎住民に与える新市誕生の印  
象が強くなる。

◎新庁舎建設は、多額の経費  
が(必ず新しくしなくとも組  
織をかえれば済む)など。  
『なお、現在の臨時職員数は  
629名と正職員数1437  
名を十年後、職員三百名削減  
で二百億円の削減を計画して  
いるようです。(合併後十年  
間は、退職者の三分の一の採  
用の方針)』

③答弁 『総合支所で決済を  
行えるシステムにしている。  
この方式をいつまで、につい  
ては即答しかねるが高性能電  
算システムや情報ネットワー  
クの構成で、支所機能の見直  
しも可能と思われる。日々の  
事務事業を検証しながら行革  
に努めていく。』

## ご意見・ご質問を下さい

現在、情報ネットワークシス  
テム関係のCATV(新世代  
地域ケーブルテレビ施設整備  
事業)に莫大な予算を投入し  
つつあります。整備終了まで  
には総工費総額260億円も  
の大予算です。

いろいろな面で簡単に、地域  
の様子がいづでも知る事が出  
来る仕組みであり、また高画  
質高速度な多種のメディアが  
お茶間のテレビに入って来る  
便利さがあります。いつぽう  
高齢化率は現在旧本荘市22・  
71%、旧七町平均で30・  
29%。十年後由利本荘市は  
何%になるか。はたしてこの  
高価な投資に対して恩恵をど  
のくらい享受できると予想さ  
れるか。私は一抹の不安を覚  
えます。皆さんはどう感じて  
いるでしょうか。私見ですが  
いま一番由利本荘市で必要な  
のは、上・下水道など、生活  
基盤の格差是正ではないで  
しょうか。それによって末端  
の施設業者もしばらくは、活  
気を取り戻せます。情報ネッ  
トは特定の圏外業者への発注  
になります。

④質問 新市の建設計画の  
見直しについて、合併特例  
債と既存の起債残高で累計  
債務残高が高騰!

◆税の収納率向上と自主財  
源確保に努めると言うが、  
就労の場がない・年金は  
減・介護保険の一部自己負  
担か値上げ・所得の減・税  
制改革は留まらない。この  
ような市民生活にどれほど  
の期待が持てるのか。

16年度決算で各旧市町持  
込債務(借金)が約705  
億3千万円、これからの資  
金計画として17年度からの  
合併特例債(合併を条件に  
借りれる借金)が十年間で  
約495億円と平成21年期  
限切れの過疎債が約89億円、  
十年後の公債(借)金残高  
は約942億円になる(た  
だ起債の約70%は後年度の  
地方交付税に参入になる仕  
組み)。自治体の一般的  
財政の指数としては、公  
債費比率10%未満が適正、  
本市の十年後は18・2%。  
15%を超えると危険  
(三年間の平均値20%超  
は)起債(借入)が制限  
される。

経常収支比率70%〜80%

我々議員は、その道のプロの態  
様で、事細かに市民に自分の目  
で情報を受け伝達していかねば  
ならない重大な使命を負っておりま  
す。  
今後幅広く由利本荘市版をお届け

## 私の履歴書

- ・立石大部落総代人、立石分館長
- ・立石圃場整備事業組合理事、換地  
庶務会計
- ・矢島商工会青色申告会理事
- ・矢島町農業パソコンクラブ会長
- ・矢島町無人ヘリ利用組合長
- ・矢島町議会3期目、農業委員6期

趣味 囲碁・将棋・読書・運動

好きな言葉 「会者定離・栄枯盛  
衰・生者必滅」

好きな歌 王将

その他 一級ボイラー、日商簿記  
三級、ガスアーク、アマ無線、危険  
物、ラジコンヘリ、SAJスキー二  
級

家族 母・妻・長男夫婦・孫二人

孫 夏実(中一)・康大(小五)

メール isamu.s@ybnet.jp

ホームページ  
http://www.ybnet.jp/~isamu/s/

TEL 0184-55-2097  
FAX 0184-55-2103

◆佐藤勇後援会の入会を  
お待ちしております。